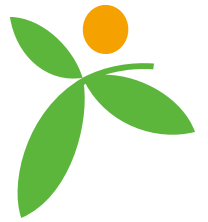


みや わか

市議会だより



2月定例会・3月臨時会

正・副議長挨拶	2
平成30年度暫定予算・人事案件など	3
委員会構成	4~7
2月審議結果報告・賛否の分かれた議案	8
市長報告	9
一般質問	10~11
議員紹介・編集後記	12



新しい議会の組織が決定しました

我々は全力を
尽くします！

任期満了に伴う市議会

議員選挙は、3月11日に行われ、新しい議員が決まりました。

また、市議会議員選挙後、初の議会が3月22・23日に行われ、正副議長及び、各常任委員会などの新たな議会構成が決まりました。

就任あいさつ



議長

えん どう か しょう
遠藤 嘉昭

市民の皆様には、平素より、格段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

去る3月22日に開催しました臨時会におきまして、議長に2度目のご推挙をいただき、身に余る光栄を感じつつも、同時にその責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。

本議会といたしましても、市民の皆様の声を市政に十分反映させ、誰もが宮若市に住んで良かったと思えるまちづくりの推進のため、なお一層の努力をして参る所存です。

私も議長として、市議会の運営が公平かつ円滑に行われますよう誠心誠意努めて参りますので、今後の更なるご理解とご協力を節にお願いいたします。



副議長

たに ぐち しげ たか
谷口 重隆

この度、ご推挙により副議長の要職に就かせていただきましたことは、誠に身に余る光栄であると感じるとともに、遠藤議長を補佐し、市政の推進と議会の公正かつ円滑な運営のために全力を尽くす覚悟でございます。

市民の皆様のニーズが多様化する中、議会の責任と役割は大きなものと感じております。これまで以上に、市民の皆様信頼される議会をめざして努力して参る所存でございます。

何卒、市民の皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成30年度 暫定予算 決まる

2月定例会で審議した主な議案は次のとおりです

平成30年度暫定予算

概ね6月までに必要となる義務的経費（人件費、扶助費）や施設の維持管理費を中心として編成されています。

	予算額等	
一般会計	68億 8,426万円	
特別会計	国民健康保険	9億 2,771万円
	後期高齢者医療	1億 1,344万円
	住宅新築資金等	3万円
	簡易水道事業	2,574万円
	公共下水道事業	4億 3,590万円
	吉川財産区	74万円
水道事業会計 (収益的支出)	8,831万円	

一般会計…賛成多数で可決
特別会計…全員賛成で可決

【暫定予算とは】

本予算が成立するまでの仮の措置として編成されるもので、当面の必要な経費を主体とし、本予算が成立するとその効力を失い、本予算に吸収されます。

平成29年度補正予算

主に年度末までの見込み額の確定に伴うものです。

	補正額	補正後の額	
一般会計	164億 530万円	170億 5,921万円	
特別会計	国民健康保険	45億 7,091万円	44億 2,822万円
	住宅新築資金等	241万円	272万円
	公共下水道事業	9億 2,261万円	9億 1,742万円
水道事業会計 (資本的支出)	5億 7,950万円	5億 6,050万円	

全員賛成で可決

教育委員会委員、固定資産評価審査委員、人権擁護委員について次の通り同意・推薦しました。

2月6日の本会議において、人事に関する議案が上程され、教育委員会委員、固定資産評価審査委員は、次の方を選任することに同意、人権擁護委員は次の方を推薦することに決定しました。

◎教育委員会委員

波止萬里子さん
近藤大さん

◎固定資産評価審査委員

菊池武征さん
吉崎栄次さん
小池孝典さん

◎人権擁護委員

塩川和之さん

委員会構成

議会運営委員会

●円滑な議会の運営を期すために、議会運営全般について協議し、意見調整の場として設置された委員会です。

委員長 茅野の
副委員長 山元秀一
委員 中島健三
委員 安河内英幸
委員 谷口重隆
委員 川口誠
委員 染矢正次

中心拠点施設整備調査特別委員会



直方・鞍手広域市町村圏 事務組合議会議員

●直方市、宮若市、鞍手町、小竹町で、構成している事務組合で、休日等急患センターに関する事務などの審議を行っています。



えん どう か しょう
遠 藤 嘉 昭



こう や き く お
神 谷 喜 久 雄

宮若市外二町じん芥処理 施設組合議会議員

●宮若市、鞍手町、小竹町で構成している事務組合で、ごみ処理に関する事務の審議を行っています。



● 宮若市の庁舎を核とした中心拠点の整備に関する調査・研究を行うために設置された特別委員会です。

委員長 川口 副委員長 安河 委員 藤嶋 委員 弓削 委員 島本 委員 谷口 委員 寶部

重勝 昌隆 典の 敬子 嘉幸 英ひで 誠まこと

議会選出監査委員

● 市の財務に関する事務の執行及び経営に関する事業の管理を監査します。



たから べ まさる
寶 部 勝



えん どう か しょう
遠 藤 嘉 昭



しま もと まさ のり
島 本 昌 典

福岡県介護保険広域 連合議会議員

● 市町村が協力して、公平で安定した介護保険制度を運営することを目的に結成されたもので、介護サービスなどに関する事務の審議を行っています。



たに ぐち しげ たか
谷 口 重 隆

総務委員会

委員長	神谷 喜久雄
副委員長	柴田 裕美子
委員	茅野 勝
委員	藤島 嘉子
委員	弓削 敬
委員	山元 秀一

〈所管〉 総務部

- 総務課
- 管財課
- 市民生活課
- 税務収納課
- 若宮総合支所市民課
- 総合政策部
- 総合政策課
- まちづくり推進課
- 会計課
- 監査事務局

教育民生委員会

委員長	中島 健三
副委員長	清水 健太郎
委員	島本 昌典
委員	安河 英幸
委員	谷口 重隆

〈所管〉 民生部

- 子育て支援課
- 健康福祉課
- 保護人權課
- 環境保全課
- 教育部
- 学校教育課
- 社会教育課
- 学校給食課

産業建設委員会

委員長	川口 誠
副委員長	染矢 正次
委員	和田 善久
委員	安永 友則
委員	寶部 勝

〈所管〉 産業建設部

- 産業観光課
- 農政課
- 土地対策課
- 建築都市課
- 土木建設課
- 水道課
- 農業委員会事務局



審 議 結 果 報 告

2 月 定 例 会

議案番号	議 案 名	議決内容
諮問第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	全員賛成 推薦
同意第 1 号	宮若市固定資産評価審査委員会委員の選任について	全員賛成 同意
同意第 2 号	宮若市固定資産評価審査委員会委員の選任について	全員賛成 同意
同意第 3 号	宮若市固定資産評価審査委員会委員の選任について	全員賛成 同意
同意第 4 号	宮若市教育委員会委員の任命について	全員賛成 同意
同意第 5 号	宮若市教育委員会委員の任命について	全員賛成 同意
議案第 1 号	宮若市東部総合運動公園条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成 可決
議案第 2 号	宮若市都市公園及び公園施設の設置基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成 可決
議案第 3 号	宮若市オフワーク通信施設条例を廃止する条例の制定について	全員賛成 可決
議案第 4 号	平成 29 年度宮若市一般会計補正予算(第 5 号)について	全員賛成 可決
議案第 5 号	平成 29 年度宮若市国民健康保険特別会計補正予算(第 3 号)について	全員賛成 可決
議案第 6 号	平成 29 年度宮若市住宅新築資金等特別会計補正予算(第 1 号)について	全員賛成 可決
議案第 7 号	平成 29 年度宮若市公共下水道事業特別会計補正予算(第 3 号)について	全員賛成 可決
議案第 8 号	平成 29 年度宮若市水道事業会計補正予算(第 3 号)について	全員賛成 可決
議案第 9 号	平成 30 年度宮若市一般会計暫定予算について	賛成多数 可決
議案第 10 号	平成 30 年度宮若市国民健康保険特別会計暫定予算について	全員賛成 可決
議案第 11 号	平成 30 年度宮若市後期高齢者医療特別会計暫定予算について	全員賛成 可決
議案第 12 号	平成 30 年度宮若市住宅新築資金等特別会計暫定予算について	全員賛成 可決
議案第 13 号	平成 30 年度宮若市簡易水道事業特別会計暫定予算について	全員賛成 可決
議案第 14 号	平成 30 年度宮若市公共下水道事業特別会計暫定予算について	全員賛成 可決
議案第 15 号	平成 30 年度宮若市吉川財産区特別会計暫定予算について	全員賛成 可決
議案第 16 号	平成 30 年度宮若市水道事業会計暫定予算について	全員賛成 可決
議員提出議案 第 1 号	宮若市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成 可決
議員提出議案 第 2 号	宮若市議会基本条例の制定について	賛成少数 否決

◆賛否の分かれた議案

○：賛成 ×：反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
氏 名	川口 誠	萩本 広房	弓削田 敬	中尾 ハギ子	染矢 正次	神谷 喜久雄	安永 友則	安河 英幸	吉野 英史	寶部 勝	間地 陸人	中島 健三	吉崎 順一	茅野 勝	谷口 重隆	藤嶋 厚	遠藤 嘉昭
議案名																	
議案第 9 号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
議員提出議案第 2 号	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○

市長報告

◆市長報告 1

第2次宮若市総合計画前期基本計画及び各種計画の策定について

この度、策定した第2次宮若市総合計画前期基本計画は、平成29年6月定例会にて議決をもらいました基本構想に基づき、まちの将来像を実現するため、平成30年度から平成34年度までの5年間に実施すべき施策や事業を体系的に示したものです。

この他、「宮若市高齢者福祉計画」、「第3次宮若市障がい者計画・障がい福祉計画」、「第1次宮若市健康増進計画」、「第2次宮若市男女共同参画基本計画」、「第2次宮若市スポーツ推進計画」、「第2次宮若市生涯学習基本計画」を策定しています。

◆市長報告 2

宮若市防災行政無線（同報系）の整備について

防災行政無線（同報系）は、災害による断線等で使用できなくなるおそれのある有線ではなく、無線による通信

連絡網で、災害関連情報（地震・洪水・火災・防犯情報等）を一斉に迅速かつ的確に伝達し、また、平時には行政情報の連絡手段としての活用が可能であるシステムです。

◆市長報告 3

宮若市学校施設等跡地活用法の策定について

平成28年12月に学校施設等跡地利用検討委員会を設置し、公用施設や民間事業者等による活用のほか、地域の活動拠点としての利活用について検討を行い、各学校施設等跡地の利活用に関する基本的な考え方を示した、学校施設等跡地活用法を策定したところです。

◆市長報告 4

認定こども園整備に関する取組の進捗状況について

平成29年1月22日及び23日に第2保育所及びさくら幼児園の保護者説明会を、2月12日及び13日には住民説明会を実施し、10月には同法人が入所定員230人規模の施設整備補助金の事前協議書を県に提出したところです。

県より市に対して補助金交付の内示が出たことから、本申請を行っており、

今年度中の交付決定を受けた後に、同法人が施設整備に着手し、平成31年4月の開園を目指すこととなります。

◆市長報告 5

福岡県介護保険広域連合介護保険条例の一部改正について

平成30年度から平成32年度までの第7期の保険料が決定されていますが、本市は、これまで同様Bグループとなり、年間の保険料としては、負担割合の基準となる第5段階では、74,361円と前回に比較して、7,826円の増額となっています。これは、65歳以上の高齢者人口の増加や第1号被保険者の負担割合の増加等によるものです。また、保険料を改めるとともに、所得に応じた、よりきめ細やかな負担をするため、所得区分を現行の16段階から25段階へ見直しされています。

◆市長報告 6

宮若市農業観光振興センター整備基本計画の策定について

農業と観光の振興を目的とした特産品等の販売促進施設である宮若市農業観光振興センターの整備は、平成28年度末に既存施設に隣接する吉川小学校が閉校となったことから、この跡地を活用した

施設整備を行うこととし、基本計画を策定しています。本基本計画の総合的な整備概要としては、旧吉川小学校屋内運動場の解体を行い、グラウンド跡地と併せて建物と第1駐車場を整備した後、現在のドリームホープ若宮を解体し、その敷地を第2駐車場として整備することとしています。

市議会を傍聴してみませんか。

6月8日(金)

次回の定例会は

開会予定です。皆さんの傍聴をお待ちしています。

本会議・各常任委員会等の日程につきましては、日程が決まり次第、宮若市のホームページ、宮若市役所本庁及び若宮総合支所に掲示します。

*小さなお子さんをお連れの方は議事堂への入場はできませんが、庁舎内において親子一緒に視聴できますので、議事事務局にお尋ね下さい。

教育施設、公園運動施設の積極的建設と自動車関連企業の誘致が宮若市へ及ぼす影響・効果を尋ねる。



中島 健三

問 社会教育施設リコリスや公園運動施設光陵グリーンスタジアム・西鞍の丘芝生フィールド等の利用状況。

答 教育長

平成28年度の利用状況として、宮若リコリスでは、図書館を含め16万2,182人、光陵グリーンスタジアムでは、利用件数98件、利用者数2万3,353人、西鞍の丘芝生フィールドでは、利用件数76件、利用者数2万5,479人となっています。

問 自動車関連企業の企業数と従業員数。

答 副市長

本市には、平成4年

にトヨタ自動車九州(株)が操業を開始して以来、多くの自動車関連企業が市内へ立地しています。現在、自動車関連企業として、24社が進出し、従業員数としては、非正規社員を含めて約1万2,000人程となっています。このように、企業が立地することに伴う影響・効果としては、税収の増加や雇用の創出が生まれ、更には、従業員の定住にもつながったものと考えています。今後は、新たな工業団地の確保が喫緊の課題となっていることから、更なる条件整備を含めた企業誘致の取組みを進めていかなければならないと考えています。

問 副市長

政策を決定するに当たっては、行政内部だけでは、もう限界にきているのではないかと。広く外部からの知恵も入れなければならぬ点では、一部は理解できますが、やはり、行政がある程度主体的になつて取組むのが、まず前提になります。それがあって初めて、外部からの意見も取り入れられると思いますので、政策決定の仕組みの中で、より広い視点から知恵を、内部だけではなく、創意工夫をしながら取組むというのは、手段としては一つの考え方として、今後取り入れていかなければならない事項ではあるとは思っています。

問 今これだけの資源があつて、問題が解決できないのは、新しい外部の人の知恵と工夫が、一番いいんじゃないかなと思うがどうか。



茅野 勝

問 中心拠点のまちづくりはどのような計画をもたれているのか。(環境整備も含む)

答 副市長

合併に向けて策定いたしました宮若市新市建設計画及び第1次総合計画において、市庁舎周辺の中心拠点の整備を位置づけ、宮若市中心拠点整備基本構想及び宮若市中心拠点整備基本計画を策定しました。

本基本計画では、中心拠点の整備として、課題になっていきます老朽化、非耐震化がなされず、分散した現市庁舎について、敷地も含めて、新築整備を行うこととし、市民の安心安全を支える拠点となる、親しみやすく利用

まちづくりについて問う。

しやすい身の丈に合った新庁舎の整備を進めていかなければならないと考えています。

問 市道路行政について問う。

問 釜底堤防線はどうなっているのか。

答 副市長

釜底堤防線は、平成23年度から平成26年度までの4か年で、社会資本整備総合交付金事業を活用し、延長253.84メートルの整備が完了しています。本路線の起点側は、県道室木・下有木・若宮線と交差し、この県道の整備が遅延していることから、関係機関との交差点との協議が整わず、供用開始に至っていない状況でしたが、継続的に協議を進め、現在、直方県土整備事務所による県道部分の取りつけ工事が行われていまして、今

問 土木建設課長

年度内には供用開始を行っていくことになっています。

問 いこいから橋までの道、これが中心拠点の道なのか。市長や相当な職員の人通っているが恥ずかしい気持ちはないのか。

市道三月田・辨鳥線についてはですけれども、管理不足はありますが、舗装面の補修や除草を、定期的に行っています。また、復員狭小で、速度を超過して通行している車両も少ないことから、現状の道路を管理していきたいと考えています。今後、更に、舗装面等の老朽化が著しくなれば、河川堤防管理者であります遠賀川河川事務所と協議を行いまして、舗装工事等を行いたいと考えています。

国保税について伺う。



藤嶋 厚

問 国保税の負担軽減のため一般会計からの繰り入れをする考えはあるか。

答 副市長

被保険者には、一定の税負担をお願いしています。この負担軽減のために、一般会計からの繰り入れを行うことについては、議会を初め、被保険者以外の市民の理解が必要であり、今後も、慎重に対処していかなければならぬと考え、平成30年度以降の状況を見て判断をしていきます。

問 今後の市財政の見通しについて伺う。

答 合併後建設された施設の実態について。

問 副市長

第1次総合計画に基づき、新たなまちづくりの基盤となる施設の整備を図ることを主眼として、学校再編に伴う教育施設のほか、若宮コミュニティセンター、火葬場、生涯学習センター、東部総合運動公園、西鞍の丘陵合運動公園のクラブハウス及び芝生フィールドなどを整備しました。

これらの建設費は、合併市町村に対する財政支援措置である合併特例債などを有効に活用し、一般財源の持ち出しを少額に抑えるとともに、後の年度の市債の評価に対しても、手厚い交付税措置により財政負担の軽減が図られているものです。

問 施設の管理運営費の過去の状況と今後の見込みについて。

答 副市長

平成28年度において、学校教育施設を除

き、年間約1億5,200万円となっております。

今後、東部総合運動公園多目的屋内施設や新庁舎などの管理運営経費が必要となりますが、経常経費の削減に努める一方、施設の利用促進を図りながら、効率的な施設の運営に努めたいと考えています。

問 公債費の今後の推移について。

答 副市長

平成28年度末の一般会計の市債借入残高は、約184億円となっております。この内約7割が地方交付税で補填されますので、残りの3割程度、約52億円が実質的な市の負担となります。また、今後の市債の償還は、平成31年度をピークに、年間15億円程度で推移をしていく見通しです。

待機児童について伺う。



谷口 重隆

問 平成29年第2回定例会での一般質問以降の状況はどうなっているか。

答 副市長

本市における待機児童の数は、平成29年6月議会での一般質問に対して答弁したとおり、平成29年4月1日現在では8人でしたが、平成29年10月1日現在では24人となっております。

待機児童発生理由は、保育スタッフの不足も要因の一つですが、保育ニーズの変化によるゼロ歳児から保育所入所を希望される家庭の増加、また、他自治体からの広域保育の受け入れ制限も新たな要因となってまいりました。

問 副市長

平成29年第2回定例会において、本市の公衆施設の禁煙対策は、厚生労働省通知や健康

公共施設の禁煙対策について伺う。

問 平成29年第2回定例会での一般質問以降どのような対策をとっているのか。

答 副市長

平成30年度から保育スタッフの確保の一環として、保育士等家賃補助事業、保育士等就労支援給付事業及び保育補助者雇用強化事業の3つの事業を行うこととしていますが、ゼロ歳児の保育需要への対応や広域保育に頼らない育英体制の整備など、新たな課題も拡大していきまして、今後、その対応を行いなから、子育て家庭への支援の充実を観点に取組みを進めていきたいと考えています。

現在、国においては、現行の健康増進法では、受動喫煙防止対策が努力義務にとどまっているため、これを義務づけるための法改正の動きもあることから、この法改正の動向や他の自治体の取り組みの状況等も見ながら、今後も禁煙対策について対応していきたいと考えております。

宮若市議会議員



● 後列(右から)

染矢 正次

清水 健太郎

弓削田 敬

山元 秀一

● 中列(右から)

藤嶋 嘉子

柴田 裕美子

安永 友則

中島 健三

安河 英幸

和田 善久

● 前列(右から)

茅野 勝

川口 誠

島本 昌典

遠藤 嘉昭

谷口 重隆

寶部 勝

神谷 喜久雄

編集後記

今年の桜の季節はお天気が続き、長くお花見が楽しめましたね。

市内の学校では、子どもたちが意気揚々と入学・進級する姿に出会うことができました。

私たち大人は、家庭・学校・地域・行政も力を総じて、宝であるこのこどもたちを守り育ていかなければと、心新たに感じたところです。

宮若市議会も新しい顔ぶれでスタートしました。初心を忘れず、市民の皆様と共に、思いやりのある豊かなまちづくりを目指します。

議会だよりも、より親しんで頂けるよう努めてまいりますので、お気軽にご意見・ご感想もお寄せ下さいますよう、よろしくお願致します。

柴田 裕美子

議会広報調査特別委員会

委員長 柴田 裕美子
副委員長 山元 秀一
委員 中島 健三
委員 清水 健太郎
委員 谷口 重隆
委員 川口 誠
委員 染矢 正次